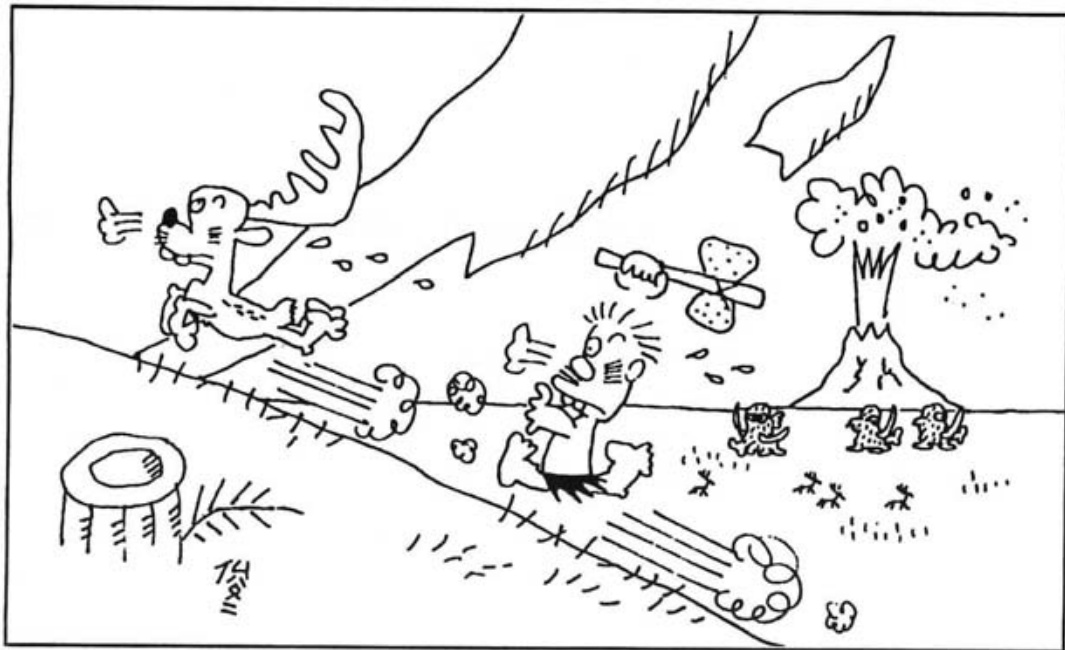


# QR Newsletter

## 第四紀通信

Vol.4 No.2, 1997



このイラストは日本第四紀学の主旨をご理解いただき  
園山俊二先生に描いていただきました（ホームページ案）

**Vol.4 No.2**

**March 31, 1997**

第四紀講習会のお知らせ	2	INQUA/GLOCOPHから	7
1997年大会第2報	2	研究集会のおしらせ	8
研究委員会の公募	4	The Holocene無料購読	10
IGCP-396からのお知らせ	6	会員消息	11

## ■第4回第四紀学会講習会

### 「遺跡の環境と生業の復原 I 植物遺体群を調べる」のお知らせ

第4回日本第四紀学会講習会を、下記の日程で実施いたします。植物遺体や人の生業に興味をお持ちの学生・院生・一般社会人の方々の参加をお持ちしています。

1. テーマ：遺跡の環境と生業の復原 I 植物遺体群を調べる
2. 開催地：青森県津軽平野および青森県三内丸山遺跡体験学習館
3. 日程：1997年5月17日（土）～18日（日）（1泊2日）
4. 内容：第1日 バス巡検（津軽平野の最終氷期・後氷期の泥炭層・埋没林など）
5. 講師：鈴木三男・南木睦彦・岡田康弘・辻 誠一郎
6. 募集人数：50人程度
7. 参加費用：10,000円の予定（夕食付き宿泊料＋バス巡検費ほか諸雑費を含む）
8. 参加申し込み方法：氏名・性別・所属・連絡先（住所・TEL/FAX）を明記の上、はがき、FAXのいずれかで下記まで申し込んでください。

〒285 千葉県佐倉市城内町

国立歴史民俗博物館 辻 誠一郎

Tel 043-0123 FAX 043-486-4299

- なお、第5回講習会（テーマ：遺跡の環境と生業の復原 II、動物遺体群を調べる）を今年10月頃に予定しています。開催地は第4回と同じ青森県三内丸山遺跡体験学習館です。募集など詳細は8月頃に本誌に掲載します。

## ■日本第四紀学会 1997年大会（総会，研究発表会） [第2報]

### 1. 日程

- 1997年8月4日（月）プレ巡検
- 8月5日（火）一般研究発表・評議員会
- 8月6日（水）一般研究発表会・総会・（終了後懇親会）
- 8月7日（木）シンポジウム
- 8月8日（金）～10日（日）ポスト巡検

### 2. 会場

北海道大学学術交流会館（〒060 札幌市北区北8条西5丁目）

### 3. 事務局

〒060 札幌市北区北10条西5丁目  
北海道大学大学院地球環境科学研究科気付  
日本第四紀学会1997年度大会準備委員会  
大会準備委員長：小野有五（北海道大学大学院地球環境科学研究科）

### 4. シンポジウム

テーマ：「東アジアから西太平洋へ：陸・海・ヒトのテレコネクション」  
世話人：小泉 格（北海道大学），大場忠道（北海道大学）小野有五（北海道大学）

### 5. 巡検

（定員，費用，コース等の詳細は次報）

プレ巡検：日帰り

1. 石狩低地帯の考古学とテフラ-千歳市周辺：案内者；山田悟郎（北海道開拓記念館），上野秀一（札幌市埋蔵文化財センター）
2. 石狩低地帯の第四紀地質：案内者；岡孝雄（道立地下資源調査所）

ポスト巡検：1泊2日ないし2泊3日

1. 大雪山高山帯：案内者；高橋伸幸（北海学園大），曾根俊雄（北大低温研），渡辺悌二（北大地球環境研）
2. 十勝平野：案内者；平川一臣（北大地球環境研），吉田真理夫（北大理学研究科）
3. 白滝遺跡とオホーツク文化：案内者；右代啓視（北海道開拓記念館），畑宏明（北海道埋蔵文化財センター）
4. 道南の考古遺跡と風成塵：案内者；雁澤好博（北海道教育大）

## 6. 一般研究発表の申し込み

今大会では、一般研究発表をオーラル・セッションとポスター・セッションの2つに区分します。そして、オーラル・セッションの時間枠を従来より削減して、そのかわり、ポスター・セッションのみの時間枠（この間オーラル・セッションは行わない）を2時間程度設定し、詳しい講演や討論が可能になるようにします。ポスターの掲示は終日可能です。

一般研究発表での講演を希望される方は右ページにある「発表申込用紙」（コピーでよい）に所定の事項を記入の上、「8. 講演要旨の原稿の書き方」にしたがった写真製版可能な原稿及びそのコピー1部を、**6月6日（金）**までに（必着厳守）行事委員までお送りください。行事委員原稿の受理をもって受け付けといたします。一般研究発表では1人1件のみの発表が可能です。オーラル・セッションの発表時間は1人およそ12分（質問時間を除く）程度を予定しています（変更の可能性有り）。発表時間を厳守していただくために、スライド・OHPの使用は合計で8枚以内とさせていただきます。十分な説明や討論を希望する方には、ポスター・セッションへの申し込みをお勧めいたします。また、オーラル・セッションの希望者が多数の場合にはポスター・セッションに回っていただくことになるかもしれません。そのときにはご協力をお願いいたします。オーラル・セッション、ポスターセッションともに講演要旨集に2ページ執筆していただきます。

### 要旨集原稿の送付先

192-03 八王子市南大沢1-1 東京都立大学理学部地理学教室内  
日本第四紀学会行事委員 山崎晴雄あて  
(TEL 0426-77-2592、FAX 0426-77-2589  
email:yamazaki@geog.metro-u.ac.jp)  
(送付先は準備委員会ではありません。お間違え無きようご注意ください。)

## 7. シンポジウムの原稿提出

シンポジウムで発表される方は、「8. 講演要旨の原稿の書き方」にしたがった写真製版可能な原稿およびそのコピーに、「発表申込用紙」（コピーでよい）を添えて、6月6日（金）までに上記の行事委員までお送りください。原稿枚数は2ページまたは4ページでお願いします。

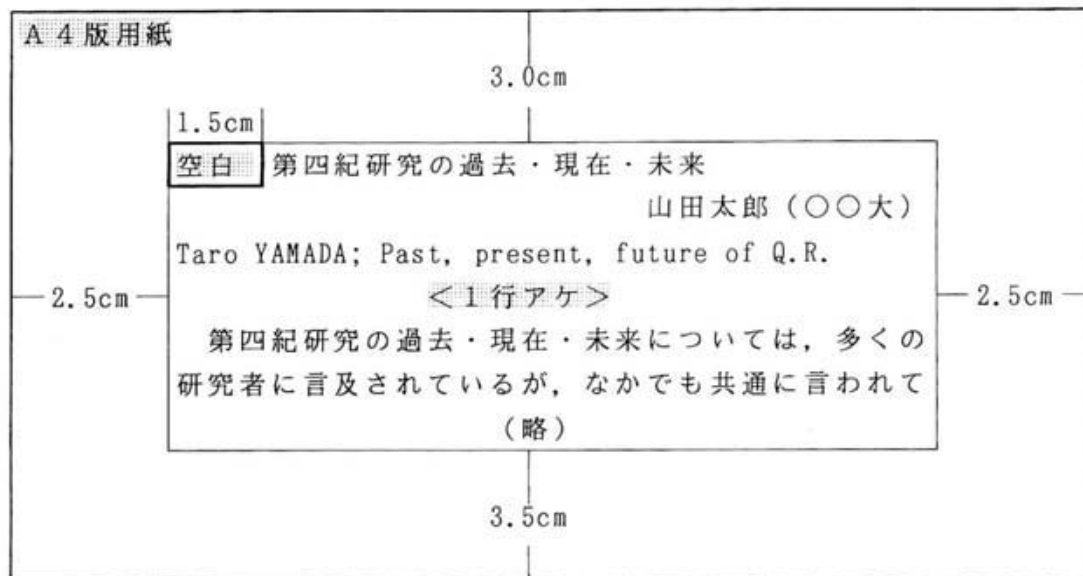
## 8. 講演要旨の原稿の書き方

原稿用紙は、発表者各自が用意したA4版白紙を、横書き・縦置きで使用してください。左右各2.5cm、上端3.0cm、下端3.5cmは空白にしてください。表題・著者名は、(例)のように和文表題・著者名(所属)、英文著者名・表題の順に書いてください。和文表題は、1行目の左側を1.5cmあけて(左端から4.0cm)左詰めで書いてください。2行以上にわたる場合でも、1.5cmあけて左詰めで続けてください。和文著者名は、和文表題の後改行して、発表者を右端に右詰めで書いてください。2行以上にわたる場合でも右詰めにしてください。所属は和文著者名の後にカッコをいれて簡潔に書いてください。

英文著者名・表題は、和文著者名の後改行して、左詰め著者名・表題の順に「;」でつなげて書いてください(所属は不要)。本文は英文表題の次の1行をあけて書き始めてください。行数・

## 学会からのお知らせ

字数は自由ですが、36行・35字程度を目安としてください。不明な場合は昨年 の要旨集を参考にしてください。本年も同一仕様です。ワープロ使用の場合は濃く印字してください。手書きの場合は黒色インクまたは黒色ボールペンを使用し、濃く細く書いてください。手書き図表の場合は黒インクを使用し原稿用紙に直接書くか、あるいは青色方眼紙・白紙・トレーシングペーパーなどに清書して枠内に貼ってください。図が原稿の上下端、左右端の空白部分にかからないようご注意ください。印刷時にA4版の原稿がB5版に縮小されますので、図の縮尺については「何分の1」という表現はしないで、必ずスケールを入れてください。



(切り取り線)

### 発表申し込み要旨

氏名 (所属):																	
	題目																
発表内容 (講演要旨には 載りません)																	
連絡先	〒  TEL																
発表の種類 (○をつける)	一般研究発表						シンポジウム										
	オーラル・ セッション	どちらでも良い			ポスター・ セッション												
スライド・ OHPの使用 (○をつける)	スライド (8枚以内)			スライド+OHP (8枚以内)						OHP (8枚以内)							

## ■ 研究委員会の公募について

庶務担当幹事 齊藤享治

第四紀学の特定の研究課題について情報を交換し、研究を推進するための研究委員会を公募いたします。研究委員会には、財政的に可能な範囲内で、会議費を4年を限度として交付することになっています。1996年度には、INQUA/GLOCOPH対応委員会（門村浩委員長）、テフラ研究委員会（町田洋委員長）、海岸線研究委員会（大村明雄委員長）、PAGES-PEP■対応委員会（小野有五委員長）、アジア太平洋層序研究委員会（熊井久雄委員長）の5委員会が設置されています。

1997年度、新規に研究委員会の発足を希望する会員は、6月30日までに、委員会名、代表者、連絡先、目的、活動予定期間、予想される参加者数、正会員5人以上の参加者名を記載した文書を庶務幹事まで提出して下さい。8月5日に開催予定の評議員会に諮る予定です。

連絡先：〒338 浦和市下大久保255 埼玉大学教育学部 齊藤享治

Tel.048-858-3195, Fax.048-858-3690,

E-mail: kyosaito@sacs.sv.saitama-u.ac.jp

## ■ 大阪市立大学理学部地球学科教員公募について

1. 採用職名・人員：助 手 1名
  2. 資 格：修士又は同等以上の資格を有し、30才前後までの若い人。
  3. 募集分野：都市地盤構造学グループ分野で、地質学に基礎をおき、将来地球環境問題や地域防災問題に積極的に取り組む意欲のある人を募集します。特に、地層および岩体の諸性質について物理探査および室内試験などの物理計測の経験を持ち、研究テーマとしては大都市およびその近郊の地下構造の解析を行い、その地質過程を総合的に考察できる人、又は今後このテーマに取り組む意欲のある人。この分野と直接関連する環境地球学大グループを構成している人類紀自然学および地球環境情報学のグループと研究・教育面で協力できる人が望ましい。教育面では物理探査学概論実習、地質力学実習、地球学演習、地質調査法実習、地球学野外実習、地球学実験などの一部を担当できる人。
  4. 必要書類
    - (1) 履歴書
    - (2) 論文および学会発表のリスト（論文別刷あるいはコピーを添付する）。
    - (3) 研究・教育に関するこれまでの経過と今後の抱負（2000字以内）。
    - (4) 推薦状を添付してもよい。
    - (5) 本人の照会可能な人（2名まで）の名前・所属・連絡先を添付してもよい。
  5. 締 切：平成9年4月17日（必着）
  6. 採用予定：平成9年10月1日の予定
  7. 宛 先：〒558 大阪市住吉区杉本3-3-138  
大阪市立大学理学部地球学教室 教室主任 塩野清治 宛
- 〔注〕封筒の表に「応募書類在中」の旨を表記し、「書留」で郵送のこと。
8. 選考方法：当教室所定の手続により、地球学科教室会議が選考し、理学部人事審査委員会で審査し、理学部教授会で決定します。なお、選考の過程で面接を行うことがあります。
  9. 結 果：平成9年6月下旬に応募者のみに通知します。
  10. 問い合わせ：TEL（06）605-2594（教室主任）



## ■IGCP-396「第四紀の大陸棚」研究からのお知らせ

地質調査所海洋地質部 斎藤文紀

IGCP-396「第四紀の大陸棚」研究

Continental shelves in the Quaternary

正式名称：「大陸棚における第四紀の記録；それらの解釈，対比と利用」

The record of the Quaternary on the continental shelves;  
their interpretation, correlation, and applications

期間：1996-2000年（5ケ年）

IGCP-396は、1995年に香港大学のW.Yim氏とシドニー大学のP.Davies氏によって提案され、1996年3月に承認された新しい国際地質対比計画IGCPのプロジェクトです。提案文書には次のように概要と目的が示されています。「大陸棚の堆積物は、第四紀の海水準変動の直接的な地質学的記録を提供する。しかし、深海堆積物と比べて、それらは海成-陸成堆積物の対比のような役割しか今まで果たしてこなかった。これは大陸棚においてODPのような国際的な共同研究計画が欠如していたことに理由がある。このプロジェクトはこの遅れを取り戻すことを目指している。主たる目的は、大陸棚における第四紀の堆積物を研究・解釈し、同時に人類のための有益な利用を明らかにすることにある。」

1996年11月1-3日にシドニー大学において、14ヶ国から約50名が参加し、第1回の年會が開催され、提案者の両名がリーダーとして承認されました。日本からは小西健二氏、鹿島 薫氏、斎藤文紀の3名の参加がありました。第2回年會は1997年7月20-26日に英国のDurhamでの開催されます。

第1回年會では、プロジェクト全体のサブタイトルとして、「大陸棚の発展の解明」が出され、以下の8つの国際ワーキンググループが設けられました。

### Working Groups

- \* 年代測定 (Dating-leader Alan Chivas)
- \* 炭酸塩堆積物 (Carbonates-leader Peter Davies)
- \* シーケンス層序 (Sequence Stratigraphy-leader Ron Boyd)
- \* 珪碎屑性堆積物陸棚 (Siliciclastic Shelves-leader Yoshiki Saito)
- \* 海洋資源 (Marine Resources-leader Heiner Josenhans)
- \* 古海洋 (Paleo-oceanography-leader James Scourse)
- \* 海洋過程 (Marine Processes-leader James Gardener)
- \* 海洋地質工学 (Marine Geotechnics (including slope stability)-leader Wyss Yim)

本プロジェクトでは現在の大陸棚の堆積物に加えて、陸上で露頭として観察・研究できる第四紀の大陸棚の堆積物（浅海堆積物）も対象となります。本プロジェクトにご関心のある方、情報を入手希望の方、ワーキンググループに登録したい方は下記までご連絡下さい。

（関係情報は基本的にはE-mailと一部第四紀通信を用いて流す予定です）。

### 国内ワーキンググループの連絡先：

地質調査所海洋地質部 斎藤文紀

305 茨城県つくば市東1-1-3

Tel 0298-54-3772, Fax 0298-54-3533, E-mail: yoshi@gsj.go.jp

### リーダーの連絡先：

Dr. W.W.-S. Yim

Department of Earth Sciences, The University of HongKong

Pokfulam Road, HongKong

Fax. 852-251-76912 E-mail: wwsyim@hkucc.hku.hk

Prof. Peter Davies

Department of Geology & Geophysics, University of Sydney

Sydney, NSW2006, Australia

Fax. 61-2-3710184 E-mail: pjd@beryl.es.su.oz.au

IGCP-396のホームページ : <http://www2.env.uea.ac.uk/gmmc/index.html>

今年7月20-26日に計画されている第2回年会は、20日(巡検) 21-23日(会合) 24-26日(巡検)となっています。Abstractと登録の締め切りが1997年6月1日となっています。年会で報告された論文はMarine Geologyから出版の予定です。この会合に関心のある方は下記までご連絡下さい。

Mrs. Alexandra Barfield  
Department of Geography  
University of Durham  
South Road  
Durham, DH13LE UK  
Fax. 44-191-374-2456  
E-mail: a.m.barfield@durham.ac.uk

## ■ INQUA/GLOCOPH 対応委員会のホームページ公開のお知らせ

INQUA/GLOCOPH対応委員会ではホームページの公開を開始しました。現時点では英語版のみです。これは、98年のGLOCOPH国際会議を日本に招致する関係上、国際的な情報の発信とアピールを最優先としたためです。アドレスは下記の通りです。

<http://geogr00.geogr.s.u-tokyo.ac.jp/~glocoph/>

ホームページには、文部省科学研究費により整備中の「古水文学データベース」へのリンクが設置されています。詳しくは東京大学地理学教室 小口 (FAX +81-3-5684-0518 E-mail: oguchi@geogr00.geogr.s.u-tokyo.ac.jp) まで。

## ■ 地震・火山噴火のメーリングリストmushaへのお誘い

歴史時代(および先史時代)に起きた地震や火山噴火にまつわる諸問題(自然科学, 人文科学, 社会科学のいかに問わない)についての学際的な情報交換や議論をおこなうインターネット上のメーリングリストmushaをつくりました。メーリングリストとは、登録メンバーへの電子メール自動配信ネットワークです。

現在のメンバーはまだ少数ですが、地震学者、火山学者、歴史学者、考古学者などの広い分野の方々に参加をよびかけています。mushaへの加入を希望する方は、電子メールにて [mkoyama@ed.shizuoka.ac.jp](mailto:mkoyama@ed.shizuoka.ac.jp) までその旨連絡ください。mushaに関する個別の質問・要望・意見・退会届の宛先も同じです。mushaの規約文(投稿の仕方をふくむ)、現在のメンバーリスト、実際に流れたメールの例を以下のwebページで見ることができます。

<http://www.ipcs.shizuoka.ac.jp/~edmkoya/musha/>

趣旨に賛同していただける方の積極的な参加をお待ちしています。本件についての問い合わせは以下まで願います。webブラウザを使えない方は、[mkoyama@ed.shizuoka.ac.jp](mailto:mkoyama@ed.shizuoka.ac.jp) にその旨連絡くだされば、規約文などを電子メールで送信いたします。

〒422静岡市大谷836 静岡大学教育学部地学教室 小山真人  
TEL:054-238-4635 (直通) FAX:054-237-9638  
E-mail:mkoyama@ed.shizuoka.ac.jp

## ■ 1997年度日本水文科学会学術大会よび総会のお知らせ

1. 大会期日：1997年6月14日（土）～15日（日）
2. 大会会場：千葉大学自然科学研究科大会議室  
〒263千葉市稲毛区弥生町 1-33
3. 大会日程：6月14日（土） 10:00～19:00 一般研究発表、総会、懇親会  
6月15日（日） 10:00～16:00 一般研究発表、ワーキンググループ研究発表
4. 大会費用：大会参加費 1,000円（大学院・学部学生500円）  
予稿集代 2,000円  
懇親会費 5,000円（大学院・学部学生3,000円）
5. 問い合わせ先  
〒305 茨城県つくば天王台1-1-1 筑波大学地球科学系  
日本水文科学会事務局 嶋田 純  
電話 0298-53-2568 FAX 0298-53-2568  
e-mail : jahs@erc2.suiri.tsukuba.ac.jp  
<http://wwwsoc.nacsis.ac.jp/jahs/index.html>

## ■ 第1回日本水文科学会・日本地下水学会合同シンポジウム 「水・物質循環と環境」のお知らせ

日本水文科学会学術大会の前日に、上記合同シンポジウムが開催されます。

1. 日時：平成9年6月13日（金） 10:30～17:00
2. 会場：日本学術会議講堂
3. 主催：日本水文科学会，日本地下水学会
4. 共催：陸水研究連絡委員会，水資源学研究連絡委員会，地質学研究連絡委員会，  
地質科学総合研究連絡委員会水文地質小委員会
5. 参加費：無料
6. プログラム：  
開会挨拶 中尾欣四郎（日本水文科学会会長，前陸水研究連絡委員会委員）  
「水・物質循環と環境」（仮題）小倉紀雄（東京農工大学）  
「水循環の入力としての降水（水質，同位体，pH）」（仮題）鈴木啓助（信州大学）  
「浸透過程と物質の動き(NO<sub>3</sub>,トリクロロエチレン等)」（仮題）平田健正（和歌山大学）  
「地下水流動と物質の動き」（仮題）谷口真人（奈良教育大学）  
「河川水・地下水の水質形成」（仮題）吉岡龍馬（富山県立大学）  
コメンテーター 高村弘毅（日本地下水学会会長，水資源学研連委員，立正大学）  
閉会挨拶 新藤静夫（学術会議第4部会員，地質科学総合研連会委員長，千葉大学）
7. シンポジウム実行委員会：  
委員長：田中 正（日本水文科学会）  
委員：島野安雄，谷口真人，三宅紀治（以上日本水文科学会），  
田中芳則，長瀬和雄，西垣 誠，村田正敏（以上日本地下水学会）
8. 予稿集：当日会場で配布（無料）



## ■地下水技術協会シンポジウムのお知らせ

開催日時：平成9年7月11日（金曜日）10：30～17：00

開催場所：日本学術会議

主催：社団法人地下水技術協会並びに日本学術会議第四紀研究連絡委員会、地質科学総合研究連絡委員会、地球科学・宇宙化学研究連絡委員会、地理学研究連絡委員会及び陸水研究連絡委員会

後援（予定）：建設省

協賛（予定）：（社）地盤工学会、水文・水資源学会、（社）土木学会、日本応用地質学会、日本水文科学会、日本第四紀学会、日本地下水学会、日本地質学会、日本地理学会

### <シンポジウムプログラム>

- 10：30～10：40 開会挨拶：米倉伸之氏（東京大学、第四紀研連委員長）
- 10：40～10：50 ゴーディネータ 挨拶：榎根 勇氏（地理学研連委員長）
- 10：50～11：50 基調講演 「第四紀編年と気候変動(仮題)」増田富士雄氏（京都大学）
- 11：50～13：00 昼食
- 13：00～13：30 パネリスト「関東平野の第四紀層序区分(仮題)」角田史雄氏（埼玉大学）
- 13：30～14：00 パネリスト「関東平野の第四紀構造運動(仮題)」菊地隆男氏（東京都立大）
- 14：00～14：30 パネリスト「関東平野の地下水循環」田中 正氏（筑波大学）
- 14：40～16：00 ディスカッション・
- 16：00～16：20 ゴーディネータによるまとめと提言
- 16：20～16：30 閉会挨拶，新藤静夫氏（千葉大学、地質科学研連委員長）

## ■世界古代湖会議 (ICAL '97) のお知らせ

滋賀県等世界古代湖実行委員会主催の国際会議「世界古代湖会議 (ICAL '97) -古代湖における生物と文化の多様性」について、本学会も後援学会として参加することになりましたので、お知らせいたします。

テーマ：古代湖における生物と文化の多様性

期 日：平成9年6月21日（土）～29日（日）

会 場：本会議 滋賀県立琵琶湖博物館

研究会議 総合リゾートホテル「ラフォーレ琵琶湖」

公開後援会 滋賀県立大学

プログラム：

本会議

「古代湖とその多様性」

「琵琶湖～東アジアの古代湖」

「生物的多様性と文化的多様性との関わり」

「湖から地域への広がり」

- ・分科会A—生物的分野 古生物学・系統分類学・遺伝学・進化生物学・生態学など
- ・分科会B—文化的分野 考古学・民俗学・社会学・人類学など
- ・ポスター発表

シンポジウム 「世界の遺産として古代湖」

連絡先：525 滋賀県草津市下物町 滋賀県立琵琶湖博物館内

世界古代湖会議実行委員会事務局

TEL：0775-68-4812 FAX：0775-68-4848

E-mail：ical@lbn.go.jp

## ■ The Holocene からのお知らせ

The Holoceneは完新世の環境変化にフォーカスをあてている代表的な国際誌で、約10,000年間の過去・現在・未来の環境変化について、LocalとGlobalなスケール両面にわたる基礎科学的研究を掲載しています。最近の気候変化に関する地質学・生物学・考古学的事象、先史時代・歴史時代の環境変遷史に関する学際的研究、自然要因・文化要因からみた地形と生態系の発達過程、過去の記録からみた環境変化の予測、などが関連領域です。最近掲載された論文には

Taylor, K.C. ほか” Biomass burning recorded in the GISP2 ice core: a record from eastern Canada”

Whitlack, C. ほか” Testing the assumptions of fire-history studies: an examination of modern charcoal accumulation in Yellowstone National Park, USA”

Sheppard, P.R. ほか” Reflected-light image analysis of conifer tree rings for reconstructing climate”

Clark, J.S. ほか” Estimating the mass flux of charcoal from sedimentary records: the effect of particle size, morphology and orientation”

Dean, W.E. ほか” Regional Aridity in North America during the middle Holocene”

Ariztegui, D. ほか” Magnetic investigations of framboidal greigite formation: a record of anthropogenic environmental changes in eutrophic Late St. Moritz, Switzerland”

Barnett, T.P. ほか” Estimates of low frequency natural variability in near-surface air temperature”

第四紀学会員にかぎり、雑誌1号分がサンプルとして無料で送られ、また定期購読にもPrivilegedの特別価格が適応される許可をとりましたので、これを機会に下記に申し込み下さい。

### ORDER FORM

- Please send me a free sample copy of The Holocene
- Please enter my 1997 subscription to The Holocene at the following rate
  - Institutional £ 277.00
  - Individuals £ 75.00
  - Privileged £ 64.00 (only for the member of JAQR)

#### Method of Payment

- I enclose a cheque for L/ £ \_\_\_\_\_ payable to Turpin Distribution Service LTD
- Please charge my credit card account:
  - Access/Mastercard
  - Barclaycard/Visa
  - American Express Card

Credit Card number:

Expiry date:

Name \_\_\_\_\_ Department \_\_\_\_\_

Institution \_\_\_\_\_

Street \_\_\_\_\_ Town \_\_\_\_\_

Prefecture \_\_\_\_\_ Zip Code \_\_\_\_\_

Country \_\_\_\_\_ E-mail no \_\_\_\_\_

Signature \_\_\_\_\_ Date \_\_\_\_\_

please return this order form:

Vicky Morland, Marketing Department, Arnold 338 Euston Road London NW1 3BH, UK

TEL 001-44-171-873-6221 FAX 001-44-171-873-6325

E-mail: k40vzm@hodder.mhs.compuserve.com

■ 第四紀通信事務局から

第四紀学会では、ホームページ検討委員会を設置して、第四紀学会のホームページを作成中です。学術情報センターとの手続きが終了し次第、開設しますので、

<http://wwwsoc.nacsis.ac.jp/index.html>

をご参照ください。

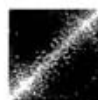
第四紀通信事務局：九州大学大学院

比較社会文化研究科 小池 裕子

TEL & FAX 092-726-4847

E-mail [koikegsc@mbox.nc.kyushu-u.ac.jp](mailto:koikegsc@mbox.nc.kyushu-u.ac.jp)

# アイソトープ・化学分析



GEO-SCIENCE LABORATORY  
地球科学研究所

的確な地球科学的野外調査と試料採集、高度な分析技術と機器分析を駆使した測定をもとに綿密な自然環境の解析を致します。



<sup>14</sup>C測定用シンプレクションカウンタ (BETA ANALYTIC INC.)

- \* 天然物の主成分・微量成分の化学分析
- \* 天然物の放射性、安定同位体分析  
<sup>14</sup>C 年代測定 (AMS & β線) 20日～3ヶ月納期  
 $\delta^{18}O$   $\delta D$   $\delta^{13}C$   $\delta^{15}N$   $\delta^{34}S$   
*Tr Rn* 等
- \* 同位体手法を用いる天然水の総合調査
- \* 環境調査、各種受託研究

## 株式会社 地球科学研究所

環境計量証明事業所・BETA ANALYTIC日本総代理店  
代表取締役 浅井和見 専務取締役 中井信之 (名古屋大学名誉教授)

〒468 名古屋市天白区植田本町1丁目608番地  
TEL 052 (802) 0703 FAX 052 (805) 6383  
e-mail : LDL05426@niftyserve.or.jp  
JDG07143@niftyserve.or.jp

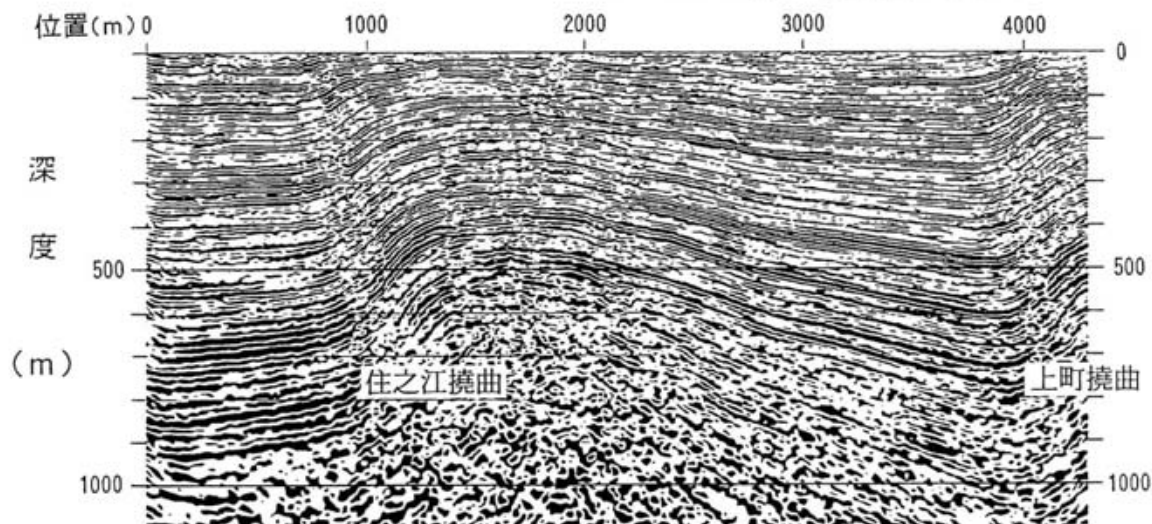
## N E D

## 日鉱探開株式会社

〒105 東京都港区虎ノ門 2-7-10

TEL : 03-(3503)-7781

FAX : 03-(3503)-9785



反射法地震探査深度断面図 (発注元：地質調査所)

### 主な業務内容

リモートセンシング、地質調査、地化学探査、物理探査、活断層調査、土木地質調査、ボーリング、環境・水質調査、測量、各種調査工事 (計画、立案、設計、施工管理)